

原小学校コミュニティ・スクールだより



～やさしく 強く やりぬく子～ 発行日：令和6年 9月19日 〈NO.4〉

4年生が、原地域センターを見学しました

9月12日(木)1・2校時、原地域センターと原自治協議会の協力を得て、4年生が総合的な学習の時間「原の安全・安心について考えよう」の学習をしました。災害発生時には指定避難所としての役割を持つ原地域センターを実際に見学し、平坂防災士と北岡防災士の話を聞いたり、防災倉庫等を見学したりすることで、児童たちは防災への関心を高めることができました。平坂防災士からは、「今日の学習を参考にして今年も防災と防犯の標語を考えてほしい。」と依頼がありました。4年生は、今後原で起こり得る災害に関連深い小倉神社周辺と温井川へのフィールドワークを予定しています。



〈北岡防災士の説明を聞く児童〉



〈東広島市備蓄倉庫前で大武自治会長の説明を聞く児童〉



〈ハザードマップを使っでの説明〉

〈防災についての学習内容〉

- ① 指定避難所としての原地域センターについて
- ② 災害へ向けた日頃の備えについて
- ③ 指定避難所とその他指定避難所の違い
- ④ 原地域センターの備蓄倉庫と原自主防災倉庫の公開
- ⑤ ハザードマップに自宅をマーキングしてみる
- ⑥ パーティション用マットの組み立て実演
- ⑦ 非常用簡易ベッドの組み立て実演
- ⑧ 防災〈防犯〉の横断幕標語について



〈パーティション用マットと非常用ベッドの組み立て↑〉

